



渺々万里

第63号



生徒のために尽くす！！

北海道静内高等学校長 西堀 隆 亮

4月10日、194名の生徒が本校に入学しました。昨年度の入学生が167名であったことを考えると、学校全体に活気があり、大変嬉しくもあり、頼もしい限りです。

さて、この春休みに日本ハムファイターズ栗山英樹監督の『「最高のチーム」の作り方』という本を読みました。その中に『監督の仕事は選手を輝かせること』との章がありました。特に印象に残ったのは、「今日やれることは、すべてやり尽くす」「自然と努力するように、人間力を高める」「やらなければいけないことをやる覚悟を持つ」「信じるとは考えること、ブレないとはプランニングを変えないこと」などの内容でした。監督として意識しなければならないことを綴っているのですが、いずれも今の君たちにとっても必要なことであると感じました。

君たちには、自分が何かする時は必ず根拠となることを明確に示し、計画性を持って取り組み、自分が失敗した時は、なぜ失敗したのかその原因・理由をじっくり時間をかけて考えてほしいと思っています。また、かつてノーベル賞を受賞した湯川秀樹博士が使った「反復から創造へ」の言葉のように、常に一步前に踏み出し、疑問を持ち、考え抜き、繰り返し粘り強く努力することを期待しています。

栗山監督は、「幸せなことをやらせてもらって、人のために尽くさないなんてあり得ない。」と言っています。私も、『校長の仕事は生徒を輝かせること』を肝に銘じて、静内高校を「最高の学校」にするよう生徒のために尽くします。



平成29年度入学式

平成29年度北海道静内高等学校入学式が4月10日(月)に行われました。入学許可宣言では、担任の先生の呼名に緊張した面持ちで返事をし、起立する一人ひとりの新入生の姿から、高校生としての自覚が感じられました。校長先生の式辞や新ひだか町長、PTA会長の祝辞においては、背筋を伸ばして聴き、息を合わせた礼をするなど年次の生徒が一体となって式に臨みました。また、齋藤 泰児 君の入学者宣誓、福井 武琉 君の交通安全宣言では、その立ち振る舞いからも静高生としてのプライドが感じられました。新たな環境における期待と不安はあったかと思いますが、整然と儀式に臨む194名の新入生は静内高校の歴史に新たな1ページを刻んでくれる期待を感じさせてくれました。



北海道静内高等学校に入学

1年3組 佐藤 壮琉

4月10日に入学して10日間がたち、高校生活にも少しずつ慣れてきました。しかし、僕の担任の先生が言っていたのですが慣れてきた頃がだらしなくなってくるそうなので僕自身も毎日意識して生活していこうと思います。僕が入部している野球部は甲子園を目指しており、僕も一生懸命毎日練習に励んでいます。僕も努力しレギュラーをとれるよう頑張るとともに、勉強も文武両道で頑張っていきたいと思っています。



着任者の紹介

職 名	氏 名	教 科
教 頭	池田 宏	
教 諭	稲垣 浩	地歴 公民
教 諭	島田 民男	英 語
教 諭	金井 幸雄	英 語
教 諭	横山 晃秀	書 道
教 諭	石丸 大介	体 育
教 諭	樋渡 将人	国 語
教 諭	大河原 隼人	国 語
教 諭	山後 裕紀	数 学
教 諭	日向 聖奈	英 語
教 諭	長野 祐果	家 庭
事 務	藤森 大河	



新入生歓迎会



新しい明日へ

教務部長 高橋 敬一

4月14日(金)に「新入生歓迎会」が開催されました。新1年次生194名を歓迎する、今年度最初の生徒会行事でした。1年次生が1日でも早く学校のことを知り、行事や課外活動に充実した日々を送ってもらえるように、春休みから執行部が企画・リハーサルなどの準備を進めてきました。

オープニングを飾った吹奏楽部の演奏では、部員によるソロパートに会場が沸き、また、生徒会による行事説明や、本校独自の総合行事制度である「会長杯」の説明に1年次生は真剣に耳を傾けていました。生徒会企画では生徒会長の及川君が勇気ある芸を披露し、会場の盛り上がりはピークに達しました。歓迎会のメインともいえる部局ステージ発表は、各部のオリジナリティのあふれる紹介に1年次生は圧倒されていました。終わりに1年次代表の佐藤友哉君(1年5組)によるお礼の言葉で締めくくられ、歓迎会は成功に終わりました。

この会をきっかけに、1年次生にはいち早く静内高校の一員として「静高プライド」を胸に刻んで活躍してくれることを期待しています。



ガイダンスブック しずこうシラバス

静内高校では多様な進路希望に対応するため、単位制を導入しています。単位制は科目選択の幅が広いことが特徴です。単位制の学校の生徒が特にしなければいけないことは、自分に関する理解を深め、自分の適性に応じてこれからの道を選ぶことです。科目選択をするためには自分が深めたい学びは何か、将来の進路に必要な学びは何かなどを考える必要があります。しかし、自分ひとりで考えることは難しいことなので、静高ではガイダンスを充実させています。例えば、自分を見つめ将来を考え、科目を選択する時の道しるべとなるのが「ガイダンスブック」です。

この中には科目選択に関する説明だけでなく、進路のことや学校生活のさまざまな決まりやしきみなどが書かれている、静高での生活のガイドブックです。また、「しずこうシラバス」はこれからの学校生活を見通すために作られた予定表です。その中には、HR 活動や進路行事、模擬試験や検定試験など学校で行われている活動のほとんどが記載されています。これを見ることで、生徒はいつ、何を、その活動でどんな力を身につけなければいけないのかを知ることができます。ですから、「しずこうシラバス」にもこれからの学校生活のガイダンスの機能があるのです。この他にも静高はさまざまなガイダンスを行い、全力で生徒の成長をサポートしていきます。

<高体連・高文連・高野連支部大会の日程>

種目	期日	会場
野球(春季大会)	5/13~20	とましんスタジアム
陸上競技	5/24~26	室蘭市入江陸上競技場
バスケットボール	5/19~21	室蘭市体育館
バレーボール	5/19~21	静内体育館
卓球	5/17~19	苫小牧市総合体育館
ソフトテニス	5/23~25	苫小牧市緑ヶ丘テニスコート
バドミントン	5/23~25	室蘭市体育館
ハンドボール	5/25~26	苫小牧市総合体育館
サッカー	5/23~26	苫小牧市緑ヶ丘公園サッカー場
剣道	5/18~19	苫小牧工業体育館
空手	5/21	静内農業高校
放送	5/25	苫小牧市文化会館
将棋(全道大会)	5/24~26	函館市民文化会館
馬術	5/27	ノーザンホースパーク
水泳	5/27	登別市民プール らくあ

新入生の皆さん入学おめでとう！保護者の皆様おめでとうございます。

いよいよ平成 29 年度が始まります。今年度が終わるときに素晴らしい1年だったと皆が思えば良いですね。

その為に生徒の皆さんがどのような日々を過ごしていくかが重要かもしれません。今年の目標は決めましたか。生徒の皆さんの目標は決めやすいですね。勉強、部活動、その他の活動と…。高校生活でしかできない、青春の全てをかける、一番輝いている時に全力で取り組んでほしいと思います。話がやや逸れましたが、目標が大事です。目標を決めたら実行です。しかし、なかなか実行に移すのが大変です。思っているけど出来ない、やろうと思うけど中々進められない等々…。実行、行動に移すことが難しい時もあります。そのような自分の性格に腹が立ったり、嫌になったことはありませんか。しかし、性格は変えなくて良いです、行動を変えれば良いのです。こんな経験はないですか、何かやろうと思った時にすぐ行えば嫌な気持ちも沸かずに終わるけど、時間を置くと嫌な気持ちが沸いてきて、結果終わることもできない。このような経験は誰にもあるかもしれません。嫌な気持ちが沸く前に終わらせてしまう。

勉強は毎日の積み重ねです。勉強はどこでもできます。3年次生はいよいよ勝負の年です。自分の希望する場所へ行ってください。自分の将来は自分に掛かっています。目標を持ち、行動を変え、生き生きと生活してください。苦しいことがあっても心を明るくしていれば乗り越えていけます。自分の心だけはコントロールできます。勉強、部活動、3年次生は進路と、皆さんの夢を叶えてください。先生方は全力でサポートします。皆が素晴らしい1年になることを願っています。頑張ってください。



5月の行事予定		
7日	日	宿泊研修(1年次)
11日	木	壮行会
15日	月	保護者向け進学説明会
16日	火	生徒総会
21日	日	PTA 町混合バレーボール大会
22日	月	自転車安全指導
30日	火	考査1週間前
6月の行事予定		
3日	土	土曜授業
6日	火	前期中間考査(～6月9日)
9日	金	前期中間考査・防災避難訓練・3年次 PTA
13日	火	ネットトラブル講演会
17日	土	陸上競技記録会(土曜日授業)
20日	火	科目選択ガイダンス(1年次)
29日	木	科目選択予備調査(1年次)

学校だより「渺々万里」は
静内高校ホームページからも
ご覧いただけます
<http://www.shizunai.hokkaido-c.ed.jp>



静内高校